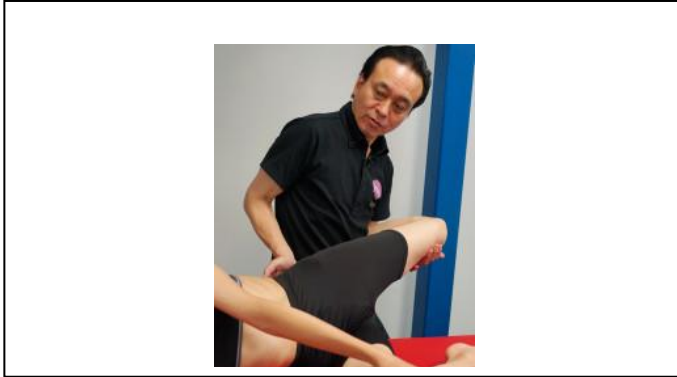


腰部骨盤帯下肢痛のケーススタディ

急性腰痛・腰部脊柱管狭窄症・産後骨盤帯痛（白線離開）・内反尖足等



2019年4月20・21日

お申込み：4月18日まで

定員になり次第〆切します

info_immsj@yahoo.co.jp

セミナー概要

開催日	平成 31 年 4 月 20 日 14:00~18:00 (13:30 受付開始) 平成 31 年 4 月 21 日 9:00~15:00
開催場所	北海道医療大学 (http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/)
講師	荒木秀明 (日本臨床徒手医学協会代表理事)
内容 (講義)	<ul style="list-style-type: none">● 椎体間不安定性の画像診断の up date● 腰部脊柱管狭窄症の画像診断の up date● 腰椎変性性側弯症の発生機序● 産後骨盤帯痛の白線離開の発生機序● 脳梗塞後の内反尖足に対する Muscle energy の理論
内容 (実技)	<ul style="list-style-type: none">● 急性腰痛に対する軟部組織 mobilization● 産後骨盤帯痛に対する manipulation● 産後白線離開に対する運動療法● 腰椎変性性側弯症に対する muscle energy と運動療法● 脳梗塞による内反尖足に対する骨盤帯から足根骨の manipulation
定員	40 名程度
受講料	iMMSJ 認定セラピスト：20,000 円 iMMSJ 会員：30,000 円

	会員外：40,000 円
その他	筆記用具持参、動きやすい服装（ジーパン、スカート不可）
申し込み方法	ホームページ（info_immsj@yahoo.co.jp）から必要事項を記載の上、お申し込み下さい

【腰部骨盤帯下肢痛のケーススタディ】

講師：荒木秀明(日本臨床徒手医学協会代表)

- 日本臨床徒手医学協会テクニカルコース第5弾は「腰部骨盤帯下肢痛に対するケーススタディ」。

以前より希望がありました「腰部骨盤帯下肢痛のケーススタディ」です。

整形外科疾患として急性腰痛、腰部脊柱管狭窄症、腰椎変性側弯症の評価と協会のコンセプトに準じた、軟部組織のモビライゼーション、関節モビライゼーション、マニピュレーションから Home exercise をお伝えします。

婦人科疾患として産後骨盤帯痛による Up Slip と白線離開の発生機序と対するマニピュレーションから安定化運動と運動療法の実際を提示します。

脳梗塞後、内反尖足による下肢痛に対しては、骨盤帯のマッスルエナジー、股関節モビライゼーション、足根骨モビライゼーションをお伝えします。

実技は講師の豊富な臨床経験を背景に、実際の症例のケーススタディを提示しながら、手技を急性期、亜急性期、慢性期と病期に応じた手技の実際をお伝えします。

- 「産後の骨盤帯痛」を改善させたい
- 「ヘルニア急性期の安静時痛」を改善させたい
- 「高齢者の腰椎後側弯」を改善させたい
- 「産後骨盤帯痛の白線離開」を改善させたい
- 「脳梗塞後の内反尖足」を改善したい

講義内容

- 椎体間不安定性の画像診断の up date
- 腰部脊柱管狭窄症の画像診断の up date
- 腰椎変性側弯症の発生機序
- 産後骨盤帯痛の白線離開の発生機序
- 脳梗塞後の内反尖足に対する Muscle energy の理論

実技内容

- 急性腰痛に対する軟部組織 mobilization
- 産後骨盤帯痛に対する manipulation
- 産後白線離開に対する運動療法
- 腰椎変性側弯症に対する muscle energy と運動療法
- 脳梗塞による内反尖足に対する骨盤帯から足根骨の manipulation
- Home exercise。